



CORPORATE PROFILE 2019

武田薬品工業株式会社 会社案内 2019



Better Health, Brighter Future



01
HERITAGE
(伝統)



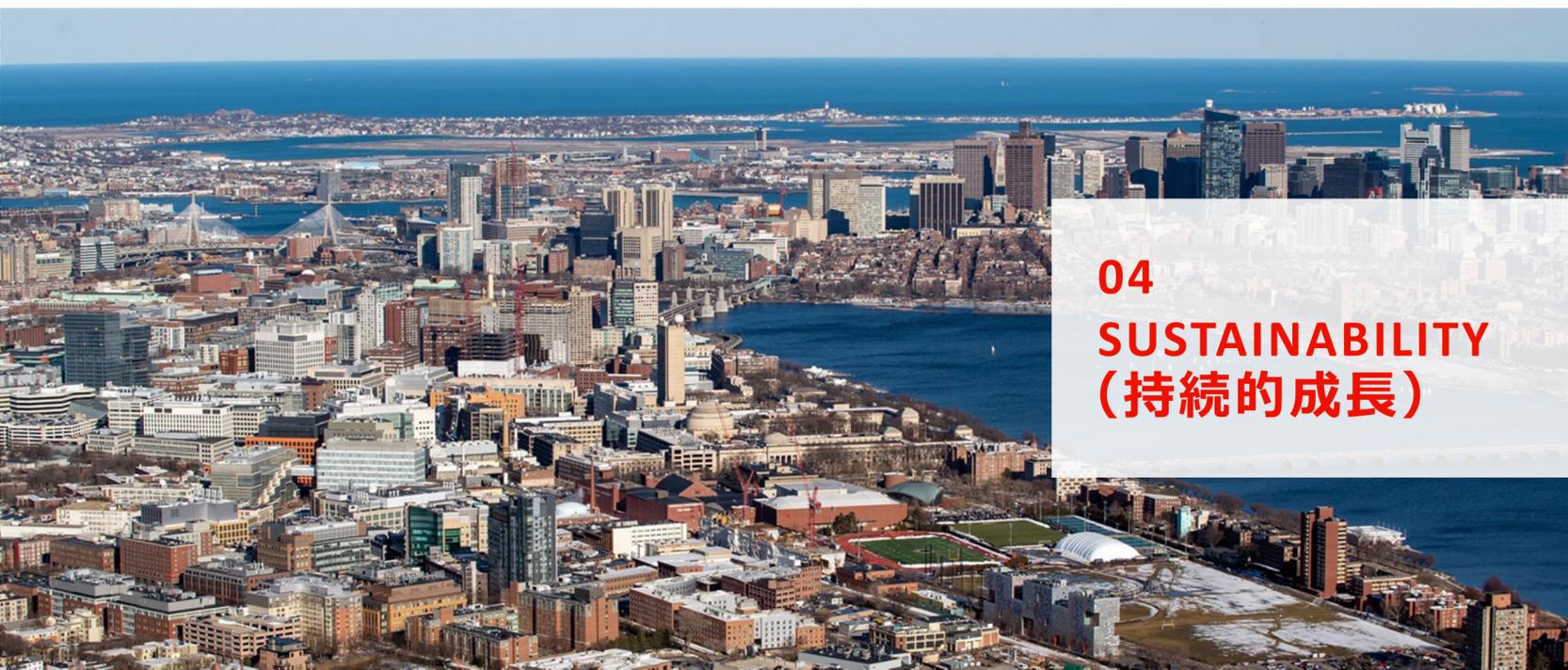
02
DIVERSITY
(多様性)

患者さんのためにこれまで以上に何ができるか？

HOW CAN WE DO MORE FOR OUR PATIENTS?



03
INNOVATION
(革新性)



04
SUSTAINABILITY
(持続的成長)



タケダの創業の地である大阪道修町は、江戸時代には日本の薬種取引の中心地となっていました。現在も数々の製薬企業が本社や拠点を置く「くすりのまち」として知られています。

01 HERITAGE (伝統)

タケダイズムと私たちの優先順位

TSUKIHARA STUDIO
OSAKA 1910

WHO WE ARE

タケダについて

PUTTING PATIENTS FIRST FOR OVER
TWO CENTURIES

2世紀以上に わたり、 常に患者さんを 中心に

238年の歴史をもつタケダは、常に患者さんを中心に考えるグローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。
優れた医薬品の創出を通じて、世界中の人々により健やかで輝かしい未来をお届けします。



Better Health, Brighter Future

VALUES

価値観

タケダイズム

「私たちはタケダイズム（誠実：公正・正直・不屈）をすべての行動指針とし、ビジョンを実現します。」

TAKEDA-ISM & OUR PRIORITIES

タケダイズムと私たちの優先順位

私たちが創業時から大切に守ってきた価値観のうえに培った経営の基本精神。この揺るぎない基本精神が、世界中のあらゆる人々のニーズに貢献するという私たちのビジョンの実現に向けた取り組みを支えています。

[経営の基本精神の詳細を見る](#)



私たちの優先順位

私たちは、次の重要事項について、その優先順位に従って考え、行動や判断の基準とします。

1 常に患者さんを中心に考えます

2 社会との信頼関係を築きます

3 レピュテーションを向上させます

4 1, 2, 3 を実現したうえで、事業を発展させます



OUR HERITAGE, OUR FUTURE

タケダの伝統、
そして未来へ

**SERVING THE NEEDS OF PATIENTS THROUGH LEADING
INNOVATION IN MEDICINE AND VACCINES**

革新的な医薬品・ワクチンの創出を通じて
患者さんのニーズに応える

SINCE

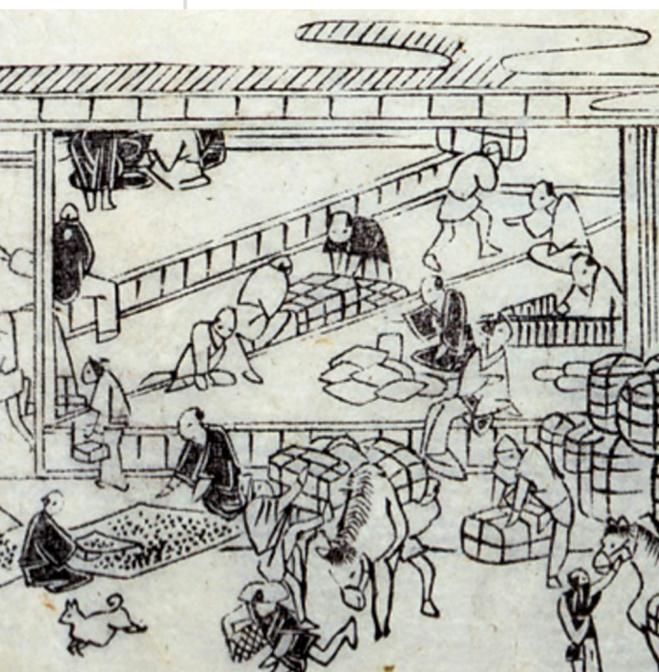
1781

初代近江屋長兵衛が大阪で和漢薬の商いを始めたのは1781年。高い品質の薬を提供し続けることにこだわり抜き、いかなるときも自らの仕事に誠実に取り組むという創業者が遺した事業のあるべき姿勢は、タケダの経営哲学として深く根付いており、今日まで継承されています。

FOUNDATION

初代近江屋長兵衛が大阪で薬種仲買商を始め、高品質の薬を提供

1781



PRODUCTION

自社工場で製薬事業を開始

1895



TAKEDA HERBAL GARDEN 

「京都薬用植物園」を開設し、世界各地の薬用・有用植物を収集・活用

1933

昭和十五年十二月十三日
 株式会社武田長兵衛商店
 店主 武田長兵衛

一分ニ向ヒ國ニ奉スルヲ第一義トスルコト
 一相和キ力ヲ協セ互ニ忤ハサルコト
 一深ク研鑽ニ電メソノ業ニ倦ムサルコト
 一質實ヲ尚ヒ虚飾ヲ慎ムコト
 一禮節ヲ守リ謙讓ヲ持スルコト
 以上



1871

INTERNATIONAL TRADE

洋薬（西洋医薬品）の輸入を開始

1914

PROPRIETARY RESEARCH

研究部を設立、自社で研究活動を開始

1940

NORI PRINCIPLES

タケダイズムの礎となる「規（のり）」を制定

PANVITAN®

日本初の総合ビタミン剤
「パンビタン」を発売

1950

**SHOSHISHA FOUNDATION**

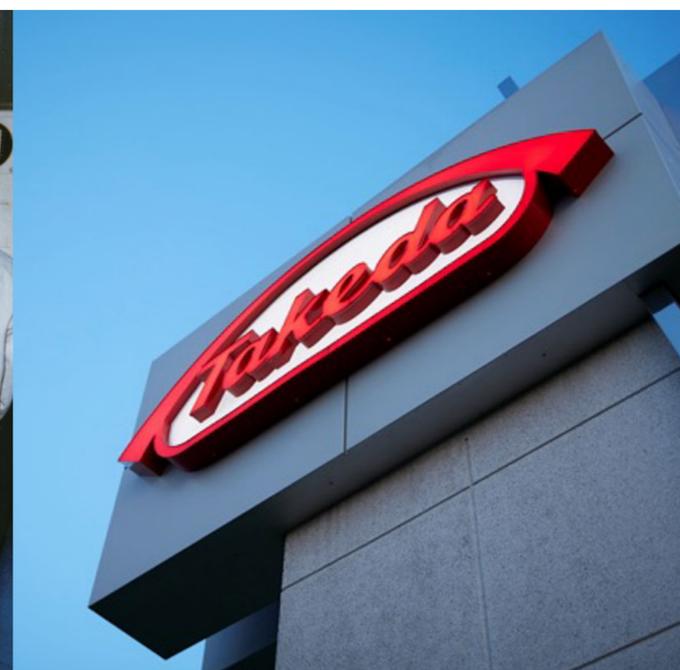
優秀な学生を支援し将来の社会に貢献
できるよう、育英事業を目的とする
「尚志社」を設立

1960

**TAKEDA SCIENCE FOUNDATION**

有望な研究および科学技術の助成振興の
ため「武田科学振興財団」を設立

1963



1954

ALINAMIN®

ビタミンB₁誘導体
「アリナミン」を発売

1962

OUTSIDE JAPAN

海外市場に進出

1980s-1990s

**EXPANSION OF
INTERNATIONAL BUSINESS**

4つの国際戦略製品「リュープロレリン」、「ラン
ソプラゾール」、「カンデサルタン」、「ピオグリ
タゾン」によりグローバル事業の拡大が加速

MILLENNIUM PHARMACEUTICALS

バイオベンチャーの米国ミレニアム社を買収し、がん領域を強化

2008

TAKEDA INITIATIVE

アフリカの保健医療人材の育成を支援する「タケダ・イニシアティブ」を開始

2010

TAKEDA AND CiRA

CiRA*との共同研究プログラムT-CiRAを開始し、iPS細胞技術の臨床応用を目指す

*京都大学iPS細胞研究所

2015



2009

UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT

「国連グローバル・コンパクト」に参加し、2011年には「LEADプログラム」のメンバーに

2011

NYCOMED AQUISITION

新興国に強い販路を持つナイcomed社を統合し、事業基盤を70カ国以上に拡大

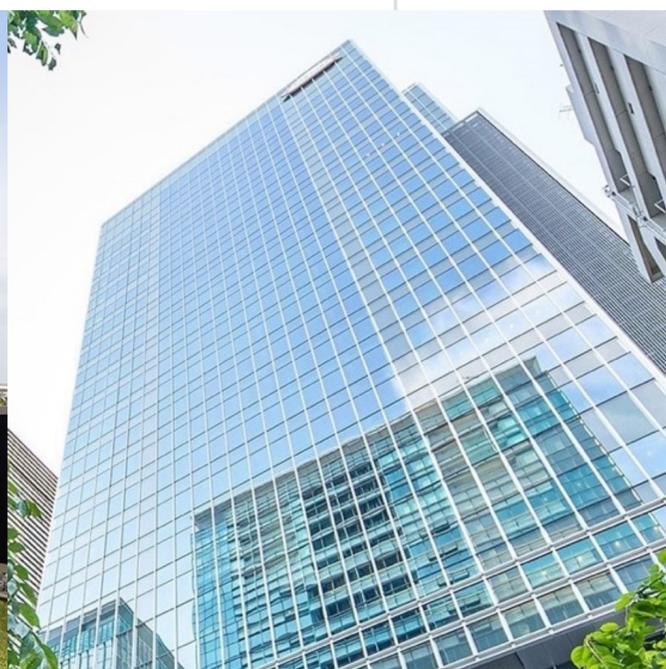
2016

VISION 2025

タケダの目指す未来の姿として、「ビジョン2025」を制定

ARIAD PHARMACEUTICALS

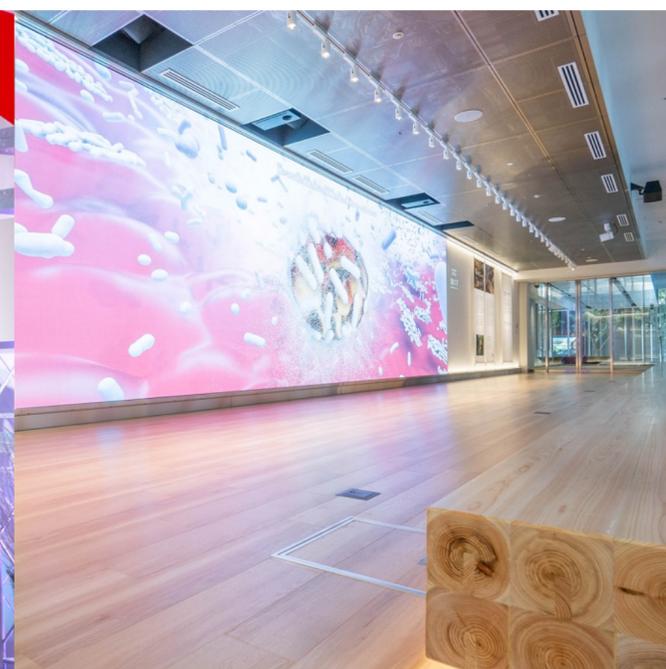
アリアド社買収により、オンコロジー（がん）領域における製品構成ならびに製品パイプライン（新薬候補物質）を固形がん領域にも拡大

2017**TAKEDA GLOBAL HEADQUARTERS**

武田グローバル本社をグランドオープン、多様性に富む従業員がオープンにつながり、ともにイノベーションに取り組む拠点へ

2018**SHIRE ACQUISITION**

シャイアー社の買収により、事業拠点は約80の国・地域に拡大し、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーへ

2019**2018****SHONAN IPARK**

湘南にヘルスイノベーションを加速する iPark をグランドオープン

2018**NEW YORK STOCK EXCHANGE LISTING**

ニューヨーク市場への上場により、ニューヨーク証券取引所と東京証券取引所の双方に上場している唯一の医薬品企業に

2019**TAKEDA LIFE THEATER**

地域社会の発展に資する施設として武田グローバル本社にシアターを開設



02

DIVERSITY

(多様性)

人材育成への取り組み
ダイバーシティ & インクルージョンの推進



世界中の多様な従業員は、最大の資産です。仕事への情熱、高いスキル、豊富な知見。従業員一人ひとりの成長が、タケダの未来への原動力です。

CORPORATE GOVERNANCE

コーポレート・ガバナンス

健全性と透明性が確保された迅速な意思決定を可能とする体制の整備を進めるとともに、コンプライアンスの徹底やリスク管理を含めた内部統制の強化を図っています。

社内取締役



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長
チーフ エグゼクティブ
オフィサー



岩崎 真人
取締役、ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント



アンドリュー・プランプ
取締役、リサーチ&
デベロップメントプレジデント



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ
フィナンシャルオフィサー

監査等委員会



山中 康彦
取締役
監査等委員

独立社外取締役*



坂根 正弘
独立取締役
取締役会議長
指名委員会委員長



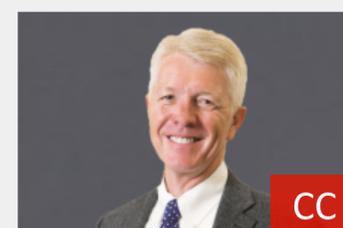
志賀 俊之
独立取締役



藤森 義明
独立取締役



国谷 史朗
独立取締役



イアン・クラーク
独立取締役



オリビエ・ボユオン
独立取締役



スティーブン・ギリス
独立取締役



ジャン=リュック・ブテル
独立取締役



初川 浩司
独立取締役
監査等委員長



東 恵美子
独立取締役
監査等委員
報酬委員会委員長



ミシェル・オーシンガー
独立取締役
監査等委員



CB 取締役会議長



NC 指名委員会



CC 報酬委員会

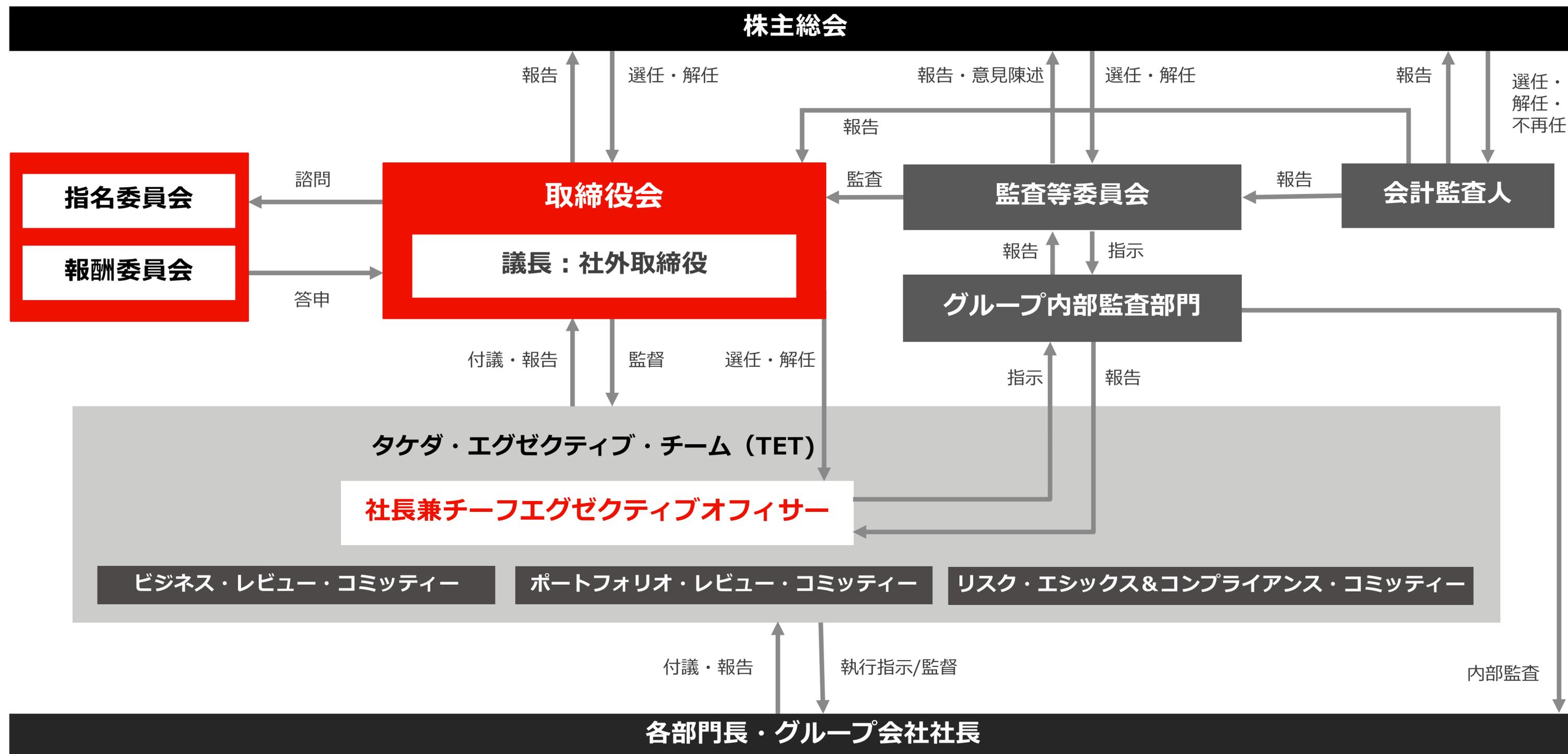


独立社外
取締役

*東京証券取引所の有価証券上場規定の定義によるもの

CORPORATE GOVERNANCE DIAGRAM

タケダのコーポレート・ガバナンス概略図



TAKEDA EXECUTIVE TEAM (TET)

タケダ・エグゼクティブ・チーム

日本



 **クリストフ・ウェバー**
代表取締役社長 CEO

 **コスタ・サルウコス**
チーフ フィナンシャル
オフィサー

 **岩崎 真人**
ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント

 **平手 晴彦**
コーポレート
コミュニケーションズ &
パブリックアフェーズ
オフィサー

 **中川 仁敬**
グローバル ジェネラル
カウンセル

 **パドマ・
ティルヴェンガダム**
チーフ HR オフィサー

 **古田 未来乃**
コーポレート戦略
オフィサー &
チーフ オブ スタッフ

米国



 **アンディー・プランプ**
リサーチ&デベロップメント
プレジデント

 **ラモナ・セケイラ**
US ビジネス ユニット
プレジデント

 **テレサ・ビテッティ**
グローバルオンコロジー
ビジネスユニット
プレジデント

 **ラジーヴ・ヴェンカヤ**
グローバル ワクチン
ビジネスユニット
プレジデント

 **ジェラード・グレコ**
グローバル クオリティ
オフィサー

 **マルチェロ・アゴ스티**
グローバル
ビジネスデベロップメント
オフィサー

スイス



 **ジャイルズ・
プラットフォード**
EUCAN ビジネスユニット
プレジデント

 **カミラ・ソングビー**
チーフ ペイシエント
バリュー&プロダクト
ストラテジー オフィサー

 **ジュリー・キム**
プラズマ デライブド
セラピーズ ビジネスユニット
プレジデント

 **トーマス・
ウオスニフスキー**
グローバル
マニュファクチャリング&
サプライ オフィサー

 **ムワナ・ルゴゴ**
チーフ エシックス&
コンプライアンス
オフィサー

シンガポール



 **リカルド・マレック**
グロース&エマージング
マーケットビジネスユニット
プレジデント

多様な視点から生まれる創造的なソリューション

従業員の多様性がもたらすユニークな視点を活かし、
世界中の患者さんにより一層貢献する

世界80の国と地域にグループ拠点を有し、イノベーションに立脚した研究開発型バイオ医薬品企業であるタケダにとって、組織に高い創造性や柔軟性、対応力をもたらすダイバーシティ & インクルージョン (D&I) の推進はきわめて重要です。

タケダは、性別・年齢・障がい・国籍・人種・性的指向、さらには性自認・宗教・経験・信念・価値観・ライフスタイルにかかわらず、従業員一人ひとりにそれぞれの能力と熱意に応じた成長の機会を提供できる企業であることを目指しています。

2016年度から2020年度の計画・実施機関において、以下の指標 (KPI) を設定し、優秀な人材に活躍の場を与えられるよう取り組んでいます。

30%



新任幹部社員に
占める女性の割合

男女同率



入社10年までの社員の
離職率 (女性/男性)

10%



社会人経験年数8年までに
新任幹部に昇進

30%



係長レベルにおける
女性の割合

30%



係長レベル以上の
女性社員の採用比率

TALENT DEVELOPMENT

次世代リーダー育成への取り組み

OUR STRENGTH COMES FROM WITHIN

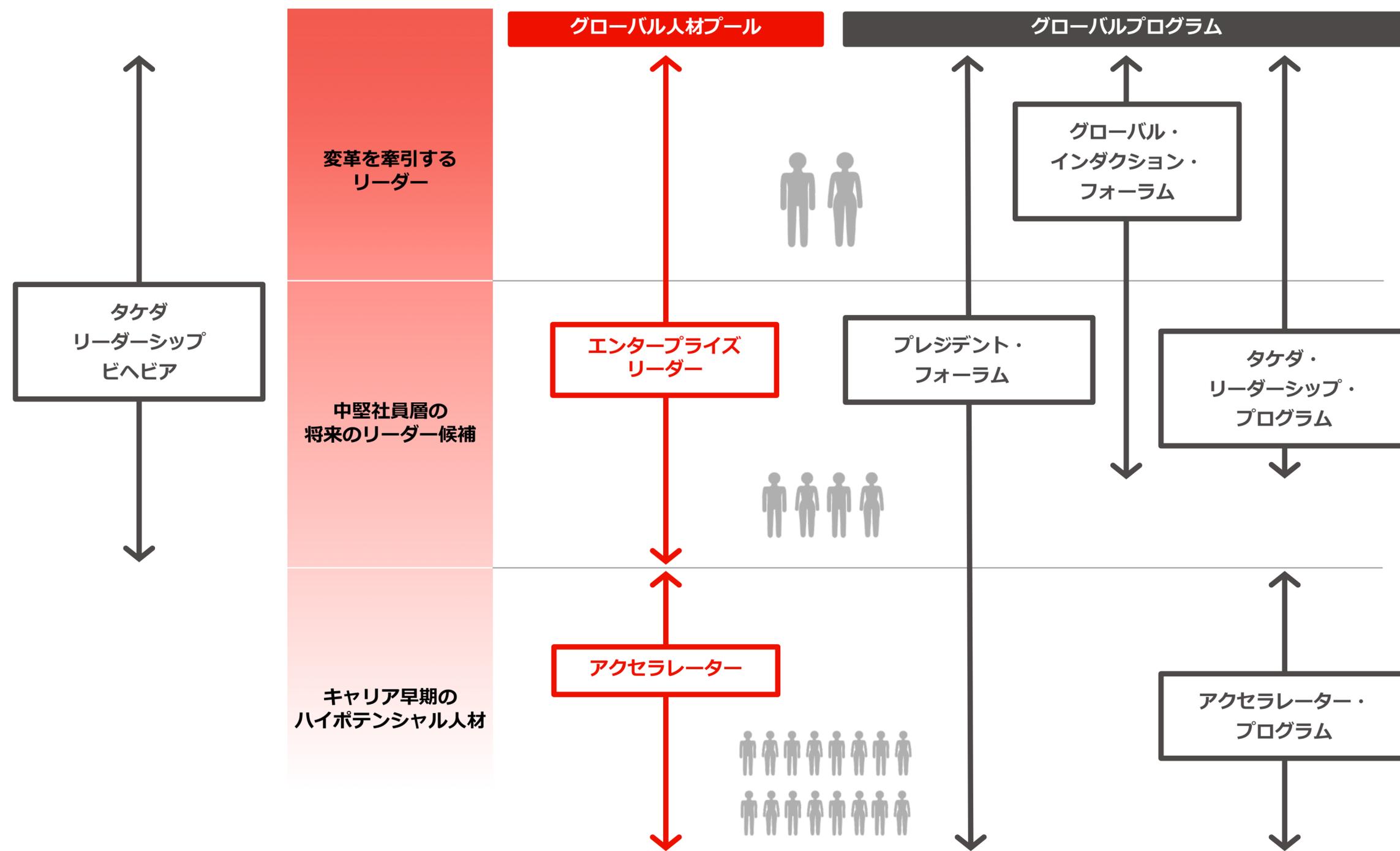
一人ひとりの成長が強い組織を創る

タケダでは、**医薬品を通じて人々のいのちに貢献する**という高い志のもと、仲間とともに切磋琢磨する**機会にあふれた職場環境**を提供しています。

一人ひとりのスキルや知識をさらに高める人材育成プログラムや、未来のタケダ、さらには製薬業界を牽引する**グローバルリーダー育成プログラム**に継続的かつ戦略的に取り組んでいます。

TET

タケダ経営幹部



部門・機能・地域ごとのリーダーシップ開発コースおよび人材育成プログラムも別途設定
(例：研究開発・ファイナンス・新興国事業など)



イノベーションを創出することが、
タケダR&Dの使命です。私たちの研究
所から世界中の患者さんに革新的な医
薬品をお届けすることを目指し、創薬
の研究開発に取り組んでいます。

03 INNOVATION (革新性)

イノベーションで、世界を変える

OUR COMMITMENT TO DELIVER
INNOVATION

イノベーション への挑戦

研究開発では、オンコロジー（がん）、
消化器系疾患、希少疾患およびニューロ
サイエンス（神経精神疾患）の4つの疾患
領域と、血漿分画製剤およびワクチンへ
の投資に注力し、業界を越えた連携を通
じて、いまだ有効な治療法がない疾患へ
の医療ニーズを解決するために最先端の
イノベーションを生み出します。

高度に集中した独自のR&Dエンジン



オンコロジー



消化器系疾患



希少疾患



ニューロサイエンス



血漿分画製剤



ワクチン

[パイプライン（新薬候補）を見る \(TAKEDA.COM\)](https://www.takeda.com)



ボストン地域には、タケダのグローバル研究開発拠点が
あります。数百ものバイオテクノロジー企業と一流の学
術機関が集まるこの地域は、米国のバイオテクノロジー
産業の中心地として知られています。

04 SUSTAINABILITY (持続的成長)

より良い事業慣行の追求こそ、持続的成長の源泉

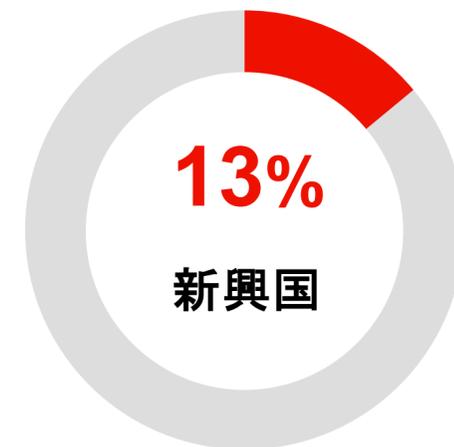
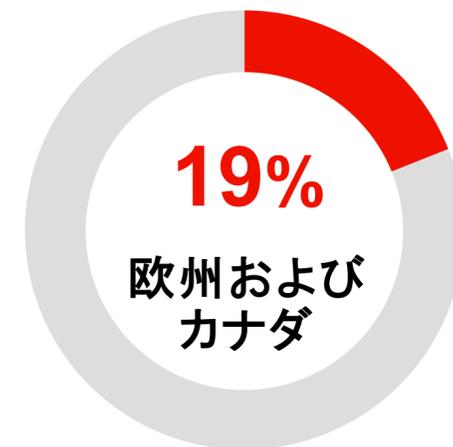
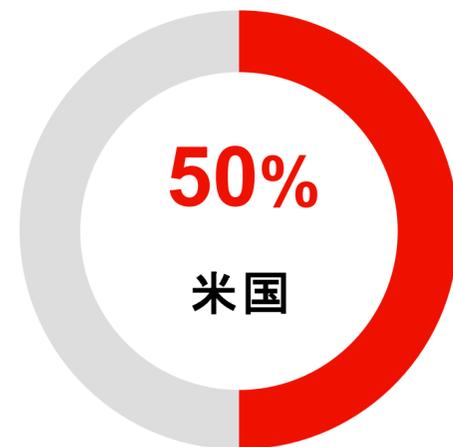
競争力を有する、経営の基本精神に基づいた、 グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニー

3兆3,300億円
約300億米ドル

売上収益
(pro-forma)*



地域別内訳(約)



* Pro-formaベースラインは2018年4月～2019年3月の旧武田薬品と旧Shire社製品を合計売上高を期中(2018年4月～2019年3月)平均レート、1ドル=111円で換算したものの

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY (CSR)

企業の社会的責任

サステナビリティ、そして誠実であること。
これが、私たちが大切にしている価値観です。

人々の健康と医療の未来に貢献する企業として、
「持続可能な開発目標 (SDGs*)」の達成に向けた活動を推進



国際社会と連携し、すべてのSDGsの実現に取り組んでいます。中でも、目標3「人々の健康」を重視しています。

SDGsの17の目標項目



*Sustainable Development Goals の略称

LONG-TERM COMMITMENT

105億円

グローバルCSRプログラム
(2016-2019年)
への拠出総額



3年間 > 10年間

43億円

2011~2020年 (10年間)
におけるNGO/NPOによる
東日本大震災の
復興支援プログラム
への拠出総額



PARTICIPATION

20,000人

2019年のグローバルCSRプログラムに
投票した従業員数

TAKEDA GLOBAL CSR PROGRAM

タケダ・グローバルCSRプログラム

2019年は5つの
プログラムに
45億円の資金を調達
疾病予防に注力

全従業員による投票で
決定されます。

グローバルCSRプログラムの
詳細を見る (TAKEDA.COM)



がん治療アクセス改善の
持続的・革新的システム
の構築

- 10億円
- 5年間
- 全世界



世界中の最も顧みられ
ない患者さんに治療を
届けるプログラム

- 10億円
- 5年間
- 16カ国



重篤な疾患の子どもとそ
の家族の生活のために

- 10億円
- 5年間
- 全世界



ユニバーサル・ヘルス・
カバレッジの実現～計画的・
効果的な予防接種のために

- 5.5億円
- 5年間
- サハラ以南のアフリカ諸国



イノベーションと最先端テ
クノロジーによる医療アク
セス改善

- 10億円
- 5年間
- 全世界



2018
14億円
3つのプログラム



コミュニティ・ヘルス
・ワーカーの育成



サハラ以南のアフリカ諸国の医療
専門家5,000名トレーニング



サハラ以南のアフリカ諸国に
おける保健システムの強化

2017
27.5億円
3つのプログラム



アフリカの妊産婦と
女性の命を守る



南スーダンとシリアの難民対象の
包括的保健プログラム



「人生最初の1,000日」へ
の保健・栄養プログラム

2016
17.5億円
3つのプログラム



少数民族の母子を
対象にした保健支援



「はしか」予防接種のグローバル
展開プログラム



地域ヘルスワーカーの
能力強化を通じた母子保健

ACCESS TO MEDICINES - 医薬品アクセスの向上を目指して 医薬品アクセス (AtM) とグローバルヘルス向上への取り組み



ヤナさん、患者
国立がんセンター (ウクライナ、キエフ)



マグダレンさん、地域保健師
ナメロク・ヘルスセンター (ケニア、カジアド)



医師 フィリピン国立総合病院がんセンター
(フィリピン、マニラ)

医療制度の整備が十分でなく、アンメットメディカルニーズ (満たされていない医療ニーズ) が最も高い地域の患者さんへの医薬品アクセス向上に取り組んでいます。

世界のあらゆる場所で、患者さんのニーズに応じていく国際社会と連携し、疾病予防を通じて、グローバルヘルスの重要課題に取り組む。

負担能力に応じた
患者支援
プログラム
(PAPS)

既成の医薬品事業の
枠組みに留まらない
問題解決への
アプローチ

パートナーシップ
を通じた
医薬品アクセス
向上への取り組み



世界中の人々により健やかで輝かしい未来を。
タケダは、常に患者さんを中心に考えるグローバルな研究
開発型バイオ医薬品企業のリーディングカンパニーです。

創業以来238年、揺るぎない経営の基本精神を軸に、
画期的な医薬品と革新的な治療法の創出にひたむきに取り
組んできました。より多くの人々の健康と医療の未来に
貢献するために、タケダの挑戦は続きます。

www.takeda.com/jp/



会社情報:

<https://www.takeda.com/jp/who-we-are/company-information/>

ニュースルーム:

<https://www.takeda.com/jp/newsroom/>

タケダのポジション:

<https://www.takeda.com/jp/who-we-are/company-information/positions/>

製品情報に関する注意事項

本会社案内には、武田薬品の製品についての情報が含まれていますがそれらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量などで販売されている場合もあります。また、本会社案内に記載されている医薬品(開発品を含む)の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。会社案内に記載されている製品に関する情報は、医学的アドバイスの提供を目的とするものではなく、決して、医師 其他医療従事者によるアドバイスの代わりになるものではありません。「アリナミン/Alinamin」および「パンビタン/Panvitan」は、武田薬品工業株式会社またはその子会社の日本およびその他の国における商標 または商標登録です。

武田グローバル本社の空間デザインについて

クリエイティブディレクター佐藤可士和氏による空間デザインコンセプトは、人間の「life force : 生きる力」。このコンセプトは、8つの漢字を用いたアートワークに落とし込まれ、ビルのいたるところに配置されています。

<https://www.takeda.com/jp/who-we-are/how-we-work/>